

四年生

愛

アイ

金文 

小篆 

漢字の意味

「愛」の古い字に「愛」があり、この字は死と心と久を組み合わせた字です。

「死」は人がうしろをふりむくすがた、「心」は人の心、「久」は人の足を表し

ます。すなわち、「愛」とは立ち去ろうとしてうしろに心がひかれる人のすがた

を表しています。その心情を愛と言います。

熟語 あいじょう 愛情、あいけん 愛犬、あいさい 愛妻、ねつあい 熱愛、れんあい 恋愛 ※熟語 (二字以上の漢字の語)



四年生


加






くわえる・カ

金文 

小篆 

漢字の意味

「加」は力と口を組み合わせた字です。力は田畑をたがやすためのすきをあらわしています。口は  で、神への祈り文をおさめる器です。「加」はもともとはすきを清めて生産力を高める儀礼を示す字です。すきにおはらいを「くわえる」ことから「くわえる」の意味になります。

熟語 、、、、
加工、加入、加味、加減、追加




四年生

害



そこなう・ガイ


甲骨文 

金文 

小篆 

漢字の意味

「害」は金文「」をみると下部の  (サイ、神への祈り文を入れる器)

をはりでつきさして、 の祈りが実現するのをじゃますることをあらわ

します。それで「害」は「そこなう・がいまする」を意味するようになります。

熟語 ゆうがい ぼうがい しんがい こうがい がいどく
有害、妨害、侵害、公害、害毒



四年生

覚

おぼえる・さめる・カク

小篆



漢字の意味

「覚」のもとの字は「覺」でこの字の上の部分は「學(学)」と同じで、屋根に千木(交差した木)がある学校の建物をあらわします。「覺」は「見る」の意味から、学校で先生に習うことによって「さとり、めざめる」の意味となります。

熟語 かくご かんかく さいかく しかく ちょうかく
覚悟、感覚、才覚、視覚、聴覚



四年生

管

くだ・カン

小篆 管

漢字の意味

「管」は竹（たけかんむり）と官より成る字です。官はただ発音の「かん」を示します。「管」は竹のくだ（細長い円筒形で中が空洞になっているもの）で、楽器の笛として使用します。のちに、細長いくだを「管」というようになりました。

熟語 かんり けっかん ほかん はいかん もうさいかん
管理、血管、保管、配管、毛細管

